

1 安定した雇用を創出する

基本的方向

■産業発展の基盤となる人材の育成・確保

ものづくり産業を支えるため、技術者の育成・確保やイノベーションが生まれやすい環境づくりをめざします。また、将来、生産年齢人口の減少に伴い労働力の確保が懸念される中、元気な高齢者や女性の活躍を促進します。

■本市の「強み」を生かした成長産業への支援

ものづくり等で培った優れた技術や地域資源を活用した新たな成長分野（介護、エネルギー・環境、医療、観光、農林水産業など）への事業展開に向け、異分野・異業種との連携強化などをめざします。また、自然災害が比較的少なく企業活動がしやすい地域特性を生かし、大都市圏からの企業移転を促進します。

■中小企業の活力向上

地域経済の発展に欠かせない中小企業に対し、異分野・異業種交流の促進などにより、企業間のネットワーク化や商品等の高付加価値化などへの支援の充実を図ります。

■後継人材の育成・確保

地方の特色であり、今後、成長が期待される分野でもある第一次産業を支える後継者の育成・確保に向け、魅力ある第一次産業をめざします。

■6次産業化、農商工連携の推進

もうかる第一次産業の実現に向け、地域資源を活用した6次産業化などの推進や、瀬戸内の小魚のブランド化などをめざします。そのため、売れる地域資源を見つけ、地域ブランドへと磨き上げることのできる人材との連携を強化します。

■地域資源の圏域内流通の促進

農林水産物を生産又は捕獲するだけでなく、大学等と連携し、経営の視点から販路拡大・消費拡大を検討できる「学びの場」の提供をめざします。また、学校給食などとの連携の可能性を研究します。

■高度で専門的な技術支援に向けた環境整備

本市の強みである「ものづくり産業」の更なる発展や、新たな成長分野の創造に向け、大学等の高等教育機関・研究機関の連携による専門的な技術支援やICT・IoTなどの先端技術の導入をめざします。

■企業ニーズに対応した人材育成

企業ニーズに対応した人材育成に向けて、圏域内の高校・大学の連携強化などをめざします。

数値目標	基準値	目標値
市内従業者数	206,888人(2012)	<u>213,750人以上</u> <u>(2020)</u>

(1) ものづくり産業の競争力強化

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
福山港国際ターミナル取扱量	83,000TEU※ ¹ （2018）	84,000TEU（2020）
大卒者の地元就職率※ ²	31.7%（2014）	40.0%（2020）
製造品出荷額等	18,284億円（2013）	20,000億円（2020）

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 産業支援拠点機能の充実
- 地域の産業集積による競争力向上
- 中小企業事業者のイノベーション等の推進（再掲）
- 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実（再掲）
- 企業立地の促進
- 地場産業の振興
- 福山港の利用促進

(2) 第一次産業の活性化

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
認定新規就農者数	3人（2014）	5人（2020）
6次産業化による新商品開発（累計）	－件（2014）	17件（2020）
首都圏販路開拓事業の マッチング件数（累計）	－件（2014）	30件（2020）

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 第一次産業振興のための環境整備
- 農林水産物を活用した地域活性化
- 6次産業化の推進
- 新規就農者・漁業就業者の育成
- 営農指導の充実
- 販路拡大の支援

※ 1. TEU：Twenty-foot Equivalent Unit の略。20 フィートコンテナを1単位として、港湾が取り扱える貨物量を表す単位
 2. 大卒者の地元就職率：市内大学の卒業者のうち、就職希望者の市内就職率

(3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
女性の労働力率（30～34歳）	71.1%（2010）	75.0% <u>(2020)</u>
創業促進セミナー受講者数	－人（2014）	<u>250人（2020）</u>
女性創業者数	－人（2014）	<u>25人（2020）</u>
知的財産アドバイザーへの相談件数	315件（2014）	<u>550件（2020）</u>
産業支援コーディネーターの派遣企業件数	28件（2010-2014平均）	<u>55件（2020）</u>

具体的な施策（●＝びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 中小企業事業者のイノベーション等の推進
- 創業支援
- 雇用対策
- 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実（再掲）
- 創業促進支援
- 新商品・新技術の開発支援
- 知的財産等総合相談の充実
- 勤労者福祉の充実
- 女性の再就職支援

(4) 高等教育機能の強化

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
大卒者の地元就職率	31.7%（2014）	40.0% <u>(2020)</u>

具体的な施策（●＝びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実

2 魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

基本的方向

■着地型観光の推進

地域資源の掘り起こしと、それを活用した商品開発や、地域住民との交流や体験を通じて、観光客に感動を与える着地型観光を推進します。

■広域観光ルートの設定

圏域内の主要観光地とその他の地域資源（食ブランドなど）について、ストーリー性をもって結ぶことにより、圏域内での広域観光を推進します。

■効果的なプロモーション

圏域全体をプロモートできる仕組みづくりを進めるとともに、専門家の知見を取り入れる中で、ターゲット（リピーター、新たな観光客層、女性、外国人など）に応じた効果的なプロモーションの実施をめざします。

■関係人口の創出や定住人口の増加に向けた情報発信・環境整備

大都市圏に在住し、移住を考えている人に向け、本圏域に住むことの強みや圏域の魅力を、ICT等を活用して情報発信していくとともに、多様な働き方が実現できる環境整備に取り組みます。

■圏域の魅力づくり

圏域住民との協働や産学官民との連携により、スポーツ・文化資源などを活用した魅力づくりを推進します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、圏域内への経済波及効果を始め、地域活性化が期待できる取組を検討します。

■道の駅等を活用した地域活性化

地域資源を生かした特産品の開発などに取り組むほか、圏域内にある道の駅等のネットワーク化を行うことで地域活性化につながる仕組みの構築をめざします。

数値目標	基準値	目標値
福山市への転入超過	△379人（2014）	300人 <u>(2020)</u>
総観光客数	6,758千人（2014）	<u>7,720千人 (2020)</u>

(1) 観光振興

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
備後圏域の総観光客数	20,920 千人（2014）	<u>24,152 千人（2020）</u>

具体的な施策（● = びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 戦略的な観光振興
- MICE 戦略の推進（コンベンション誘致含む）
- 民泊の推進

(2) 地域振興

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
移住について具体的な相談に入っている者数	－ 件（2014）	100 件 <u>（2020）</u>
市の知名度やブランド力の向上に対する満足度（市民アンケート調査）	17.5%（2015）	22.5% <u>（2020）</u>
福山ブランド認定・登録制度への応募件数（累計）	－ 件（2014）	300 件 <u>（2020）</u>
道の駅等への来場者数	222 千人（2014）	<u>241 千人（2020）</u>

具体的な施策（● = びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 大学を活用した地域活性化
- 定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進
- 人材の育成と人材ネットワークの構築（再掲）
- 中心市街地の活性化
- 都市ブランド戦略の推進
- ばらのまちづくりの推進
- 福山城築城 400 年記念事業の推進
- 道の駅等を活用した地域活性化
- スポーツによる地域振興
- MICE 戦略の推進（コンベンション誘致含む）（再掲）

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的方向

■ 出会いの場づくり

結婚に結びつく出会いの場づくりや、結婚しやすい環境づくりを行い、若者の「結婚したい」を支援します。

■ 小児救急医療体制の構築

安心して子どもを産み育てられるよう、広島県、岡山県など関係機関と連携する中で、持続可能な小児救急医療体制の構築をめざします。

■ 子どもを産み育てやすい環境づくりの推進

核家族化の進行や女性の社会進出などにより、多様化する子育て支援ニーズに対応するため、保育所入所の待機児童ゼロの継続や企業等におけるワーク・ライフ・バランスを推進します。また、関係機関と連携して、母子周産期等の医療体制の構築をめざします。

数値目標	基準値	目標値
出生数	4,232人(2014)	現状維持 <u>(2020)</u>
合計特殊出生率	1.73(2013)	1.81 <u>(2020)</u>

(1) 結婚の支援

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
ふくやま de 愛サポーターが仲をとりもった数(累計) (婚活イベントでのカップリング数など)	一組(2014)	<u>100組(2020)</u>

具体的な施策(●=びんご圏域ビジョンに基づく施策)

○若者交流の支援

(2) 出産・子育ての支援

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
一般不妊治療受診（申請）数	－ 件（2015）	450 件 <u>(2020)</u>
子育て応援支えあい事業の活動グループ数	3 グループ（2015）	5 グループ <u>(2020)</u>
地域子育て支援拠点事業を実施する施設数	29 施設（2015）	<u>34 施設 (2020)</u>
子育て支援システムへのアクセス数（月平均）	－ 件（2015）	20,000 件 <u>(2020)</u>

具体的な施策（● = びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 子育て支援の充実
- 出産支援の充実
- 児童虐待防止の周知・啓発
- ひとり親家庭の自立支援の推進
- 子育て支援情報の発信強化
- 保育サービスの充実
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 小児救急医療体制の確保

4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

基本的方向

■高度医療・救急医療体制等の確保

超高齢社会を迎え、住民の医療ニーズが多様化・増大する中、安心・安全な医療提供体制の確立をめざします。また、圏域の救急体制の確保のため、医療機関の連携強化を図ります。

■医師の確保、看護師の養成・確保

広島県や岡山県、関係機関と連携して、医師の確保に努めます。

今後、看護師不足の深刻化が懸念される中、大学・医療機関等と連携する中で、圏域内で養成した看護師が圏域内に就職できる仕組みづくりをめざします。

■地域包括ケアシステムの構築

一人暮らしの高齢者が増える中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療と介護の連携等を推進し、圏域内の市町でノウハウを共有するなど地域包括ケアシステムの構築をめざします。

■障がいのある人がいきいきと暮らせる環境整備

だれもが、いきいきと学び、健やかに過ごせるよう、障がいの原因となる病気などの予防・早期発見・早期治療などにつながる保健・医療・福祉・教育の連携強化や、それを支える人材の育成・確保をめざします。

■圏域一体となった健康づくりの推進

健康な人が、支援や介護を必要としない生活を維持できるよう、介護予防、フレイル予防や地域で取り組む健康づくりなどを推進し、健康寿命の延伸をめざします。また、住民の健康増進のため、がん検診や特定健診の受診率向上に向けた取組を推進します。

■食育の推進

食を通じた健康教育や食文化の継承などに取り組み、心身の健康の増進をめざします。

■公共施設の広域的な管理・運用等

圏域内の人口減少や少子化・高齢化の進行に伴い、変化する公共施設への行政需要を踏まえ、公共施設の広域的な管理・運用の研究などに取り組みます。

■災害への備えの強化

大規模な災害等を想定したまちづくり、人づくり、連携体制づくりを進め、市民の生命を守る体制を充実します。

■次代を担う人材育成

持続可能な社会づくりに向け、「自ら考え学ぶ授業」づくりを通して、知（確かな学力）、徳（豊かな人間性）、体（健康体力）をバランスよく身につけた、「たくましく生きる子ども」を育成します。また、ICTの活用など、様々な個性の子どもが主体的に学ぶための環境づくりを進めます。

数値目標	基準値	目標値
まちづくりに関心がある市民の割合 (市民アンケート調査)	70.8% (2015)	80.0%以上 <u>(2020)</u>

(1) 医療・福祉サービスの充実

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
病院などの整備や保健・医療サービスの充実に対する満足度（市民アンケート調査）	44.4%（2015）	50.0% <u>(2020)</u>
障がい者雇用推進セミナー参加者数	43社，44人（2014）	60社，61人 <u>(2020)</u>

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 高度な医療サービスの提供
- 地域医療の充実
- 高齢者や障がい者等の福祉の充実
- 医師や看護師等の人材確保
- 地域包括ケアシステムの構築

(2) 健康づくり

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
健康寿命の延伸 <u>（平均寿命と健康寿命の差）</u>	男性 <u>1.28年</u> 女性 <u>2.99年</u> (2011)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 <u>(2020)</u>

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 健康づくりの推進
- 食育の推進

(3) 時代に対応したまちづくり

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
福山防災リーダーがいる学区数	47 学区（2015）	80 学区 <u>(2020)</u>
備後圏域の人口社会減の抑制	△1,574 人（2012）	±0 人 <u>(2020)</u>

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 広域的な都市基盤の整備
- 災害に対する安心・安全の確保
- 環境に配慮した循環型社会の構築
- 行政サービスの向上
- 公共交通体系やデマンド交通の検討
- 公共施設サービスの再構築
- 連携中枢都市圏構想の推進（広域連携の推進）
- 生涯活躍のまちづくり
- 未来を拓く拠点づくり
- 外国人が活躍できるまちづくり

(4) 地域を支える人材育成

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
<u>全国学力・学習状況調査における 全国平均以上の項目数 （小中学校2項目）</u>	小学校： <u>2項目</u> 中学校： <u>0項目</u> <u>(2019)</u>	小学校： <u>2項目</u> 中学校： <u>2項目</u> <u>(2020)</u>
<u>放課後チャレンジ教室・ 土曜チャレンジ教室の登録児童数</u>	300 人（2015）	700 人 <u>(2020)</u>
<u>社会の役に立つ人間になりたいと 回答した生徒の割合（アンケート調査）</u>	93.2%（2014）	98.0% <u>(2020)</u>

具体的な施策（●=びんご圏域ビジョンに基づく施策）

- 歴史・文化・教育・スポーツの振興
- 人材の育成と人材ネットワークの構築
- 持続発展教育（ESD）の推進
- 地域で学習できる環境づくり